

## 内視鏡検査時の鎮静薬使用に関する説明書・同意書

### 目的と方法：

- 1，注射によって検査時の苦痛を和らげることを目的とします。
- 2，あくまでも鎮静剤にて、全身麻酔ではありませんので、完全に眠ってしまうとは限りません。
- 3，血圧、酸素飽和度をモニターして、必要に応じて酸素吸入をします。
- 4，検査終了後も 1 時間程度はベッドで休んでいただき、ふらつきなどが消失してから帰宅していただきます。

### 鎮静剤使用前後の注意事項：

検査後も眠気が残る事がありますので、当日は必ず徒歩か公共交通機関で来院して下さい。検査後も、その日は車の運転やバイク、自転車の使用は決してしないで下さい。可能であれば、付き添いの方と一緒に来院して下さい。

### 鎮静剤使用の危険性について：

日本消化器内視鏡学会による偶発症に関する第5回全国調査（2003－2007年）によると、鎮静剤使用により3人（0.00003%）の死亡、167人に偶発症を認めております。代表的な偶発症には以下のものがあります。

- 1，呼吸抑制：呼吸数の低下、徐脈、呼吸困難、呼吸停止
- 2，循環抑制：血圧低下、徐脈、不整脈、ショック
- 3，覚醒遅延：意識の回復の遅延
- 4，薬剤アレルギーによる湿疹、呼吸困難、ショック
- 5，注射部位の血管炎、血管痛

最悪の場合、致死的な偶発症をきたすことも有り得ます。

これらの偶発症が起きないように細心の注意を払いますが、皆無とも言い切れません。

ご高齢の方や全身状態の悪い方（心臓や肺の機能が悪い方、肝機能や腎機能が悪い方）では、ご本人が希望されても、鎮静剤使用出来ないことがあります。

☐ 上記内容を理解した上で、鎮静剤の使用を希望します。

患者氏名 \_\_\_\_\_

令和 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

（代理人 \_\_\_\_\_）